

## 日本結晶学会 2025 年度第 4 回・2026 年度第 1 回合同評議員会 議事録

日時：2026 年 3 月 28 日 13:00 ~ 16:00

場所：日本大学文理学部 本館 2 階会議室 B および Zoom によるハイブリッド形式

出席※：青柳忍<sup>a,b,z</sup>、吾郷日出夫（次期編集幹事）、五十嵐教之<sup>a,b</sup>、植草秀裕<sup>a,b</sup>、海野昌喜<sup>a,b</sup>、大原高志<sup>a,b</sup>、尾関智二（次期会長）、上村みどり<sup>a,z</sup>、久保田佳基<sup>a,b</sup>（行事幹事）、栗栖源嗣<sup>a,z</sup>、小島優子<sup>a,b,z</sup>、小松一生<sup>a,b</sup>、坂井直樹<sup>b,z</sup>、清水伸隆<sup>a,b,z</sup>、菅原洋子<sup>a,b</sup>、杉本邦久<sup>a,b</sup>（庶務幹事）、杉山和正（会長）、関根あき子<sup>a,b,z</sup>、玉田太郎<sup>a,b</sup>、藤間祥子<sup>b</sup>（会計幹事）、徳田誠（次期広報幹事）、中川敦史<sup>a,b</sup>（監査役）、中塚晃彦<sup>a,b</sup>、南後恵理子<sup>a,b,z</sup>、西堀英治<sup>a,b,z</sup>、禾晃和<sup>a,b</sup>（監査役）、橋爪大輔<sup>a,b</sup>、原田彩香<sup>z</sup>（男女共同参画幹事）、藤井孝太郎<sup>a,b</sup>（広報幹事）、水牧仁一朗（編集幹事）、宮原郁子<sup>a,b</sup>、森川大輔（情報幹事）、山下恵太郎<sup>a</sup>、山田悠介<sup>a,b</sup>、山本雅貴<sup>a</sup>、和田啓<sup>a,b,z</sup>

委任状出席者※：井上豪<sup>b</sup>、河野正規<sup>a</sup>、熊坂崇<sup>a,b,z</sup>、千田俊哉<sup>b</sup>、

欠席：足立伸一<sup>a,b</sup>

議長：杉山和正（会長）

議事録作成者：玉田太郎（次期庶務幹事）

※2025 年度第 4 回評議員会（定数 30，構成員は<sup>a</sup>で表記）：出席 27，委任状出席 2  
2026 年度第 1 回評議員会（定数 30，構成員は<sup>b</sup>で表記）：出席 26，委任状出席 3  
Zoom 出席者（<sup>z</sup>で表記）

（五十音順、敬称略）

上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として杉本邦久評議員が選出された。

### 議事

#### 報告事項

#### 1. 幹事報告

##### 1-1. 庶務幹事報告（杉本庶務幹事）

会員による次期評議員選挙は概ね前年度と同程度の投票率で実施されたことが報告され、2026 年度評議員の紹介が行われた。また、2026 年 3 月 24 日現在における退会者の状況が報告され、あわせて会費滞納者についても説明がなされた。さらに、賞および助成金等の申請採択状況については、財団の研究助成に応募 1 件あり、学会として推薦したことが報告された。

##### 1-2. 会計幹事報告（藤間会計幹事）

監査報告書が提示され、一般社団法人としての 2025 年度決算（2025 年 2 月 1 日～2026 年 1 月 31 日）が報告された。単年度収支で、1,068,831 円の赤字（法人税、

住民税および事業税を差し引くと 1,138,831 円の赤字) となったが、今期赤字分を前期黒字から差し引くことで税金を取り戻す手続きを行っており、16,827 円の税金が還付される旨が説明された。赤字の主な要因として、会員減による収益減と年会不開催による対面会議費の増加が挙げられる。国際会議口については、国際会議招致のための積立が終了したことが報告された。AsCa2025 に関連する前払い金については拠出金として処理されており、AsCA2025 から最終報告がなされたのちに 2026 年度会計に反映される旨が説明された。リガクフェンドロに関しては、対称性講座の開催経費および AsCA2025 への参加助成に使用したことが報告された。また、今年度は IUCr2026 の参加助成、対称性講座開催経費、年会でのポスター賞顕彰費に係る支出が予定されている旨が説明された。さらに、過去 8 年の会議費の推移報告がなされ、コロナ禍後の対面とハイブリッドを併用した際の支出がコロナ禍前の完全対面時の支出と同等であることが紹介された。

### 1-3. 編集幹事報告 (水牧編集幹事)

会誌の発行状況と特集について報告されるとともに、次号の準備状況と特集について報告された。

### 1-4. 行事幹事報告 (久保田行事幹事)

「対称性・群論トレーニングコース」および「粉末 X 線解析の実際」の開催計画について報告された。あわせて、2026 年度年会 (2026 年 11 月 20~22 日、トークネットホール仙台) の開催計画について報告された。2027 年度以降の年会については、2027 年度 (東京周辺) が日程調整中であること、および若手の会の充実を目指していること、2028 年度が岡山開催を予定していることが報告された。

### 1-5. 情報幹事報告 (森川情報幹事)

ホームページのアクセス分析について報告があった。また、X (旧 Twitter) を用いた情報発信については、AsCA2025 現地からの発信についても紹介された。一方で、フォロワー数およびアクセスが伸びていない状況であることから、プレスリリース紹介等の投稿を増やす必要性について説明があった。

### 1-6. 広報幹事報告 (藤井広報幹事)

メールマガジンおよびメール配信に関する報告があった。また、X において学会誌過去記事の閲覧数が一定数有ることが紹介され、今後も継続して過去記事の紹介を行う旨が説明された。

### 1-7. 男女共同参画推進幹事報告 (原田男女共同参画推進幹事)

原田男女共同参画推進幹事より、男女共同参画学協会連絡会の幹事学会交代、新規加盟及び正式加盟学会の紹介、男女共同参画学協会連絡会シンポジウムの結果が報告された。また、来年度の「女子中高生 夏の学校」イベントについても開催日時が決まった旨、紹介された。

## 2. AsCA 関連 (杉本 AsCA 評議員)

AsCA2025 の参加支援について、支援条件と支援実績について説明がなされた。また、AsCA2025 開催報告として、参加者数と Rising Star Award、Best Poster Award、Audience Spotlight Award の各受賞者の紹介が co-chair の中川先生からなされた。

### 3. IUCr 関連（中川日本学術会議 IUCr 分科会委員長・IUCr 理事）

IUCr2026 の参加登録について早期登録期限が迫っていることが紹介された。また、亡くなられた佐々木園先生の後任として南後恵理子先生が副委員長に、南後先生の後任として小島優子先生が幹事に就任される旨の説明があった。

### 4. 日本学術会議関連（中川日本学術会議 IUCr 分科会委員長・IUCr 理事）

IUCr 分科会と結晶学分科会合同の分科会が令和 7 年 12 月 22 日にオンラインで開催された旨の説明があった。

### 5. その他（杉本庶務幹事）

日本学術会議からのメール転送について、今後は「幹事会と記者会見」に関するメールは評議員へも転送する運用となったことが報告された。

## 審議事項

### 1 2026 年度運営体制について

2026 年度の幹事と評議員が紹介され、幹事について満場一致で認められた。併せて各委員会委員についても紹介・承認された。

### 2 会員異動について

2026 年 3 月 24 日現在での入会希望者が紹介され、満場一致で入会が認められた。強制退会対象者についても紹介の上で退会が承認された。その上で、現時点での会員数が 1000 名を切ったことが報告された。

### 3 協賛・共催等依頼について

後援の依頼 1 件、協賛の依頼 2 件について、満場一致で認められた。

### 4 特別賞の規定について

前回の評議員会で提案された特別賞の規定について、杉山会長から抜粋が説明された。授与する時期や対象（個人・団体）等の議論が行われ、議論を踏まえた修正を加えたいことで規定を設けることが満場一致で認められた。

### 5 2026 年度国際会議参加助成募集のお知らせについて

IUCr2026 参加助成について、効果的な支援を行えるように応募資格、書類、選考方法、支援内容、等の見直しを行いたい旨が藤井次期会計幹事から説明された。見直し案について活発な議論が行われ、議論を踏まえた内容で会員に周知することが満場一致で認められた

### 6 学会運営体制のあり方について

10 年前に比べて会員総数が約 21% 程度減少していることが紹介され、学会活動を持続的に発展させるため、今後の運営体制のあり方について学会活動の活性化や規模に応

じた体制構築を中心に議論が行われた。

## 7 その他

2026年度日本結晶学会における西川賞、学術賞、進歩賞の各賞について、候補者推薦の依頼がなされた。推薦の締切は2026年5月31日(必着)であることが報告された。

## 6. 今後の評議員会日程について

2026年度の残り3回の評議員会について開催時期・形態は検討中であるが、第3回については仙台年会の初日(11月20日)に実施されることが告げられた。

以上

上記の決議を確認するため、議事録を作成し、出席した会長、評議員が記名押印する。

2026年 4月 1日

一般社団法人日本結晶学会  
評議員会

議長・会長 杉山 和正 印

議事録署名人・評議員 杉本 邦久 印